



おいしい実りの秋　小学校の稲刈り・脱穀

下諏訪ぎかい

Vol.53

2026
9月定例会

特集 2～3P

～R７年度決算～
私たちはこう審査しました！

特集 14～15P

★議会懇談会
★生活文教常任委員会
　視察報告



令和7年度一般会計決算

私達はこう審査しました!!　認定

歳入総額　100億9,223万円
歳出総額　97億7,139万円



「ここは、どうなの？」「次に繋げて」などの意見も

税の収納にあたっては、滞納者や事業者に親身に寄り添う姿勢を今後も貫いていただきたい。

産業、観光、商業の振興に関する補助金や交付額については、財政難である状況を念頭においた精査が必要と考え、検討を求めたい。

産後ケア事業で通所型、相談型、宿泊型の支援が実施されたが、産後の負担軽減により利用しやすい制度となるよう要望する。

保育士不足で一時保育が受けられなかったケースもあり、保護者の就労にかかわらず必要な時に預けられるよう、保育士確保や働きやすい環境づくりに取り組んでいただきたい。

注目の新規・拡充事業



ふるさとまちづくり寄附金・企業版ふるさと納税 件数・金額の増加による収入増

R7年度は、寄附金総額から情報発信や返礼品の経費、町民の他自治体への寄附に伴う税額控除を差し引いても2,399万円のプラスになりました。



イタリア訪問交流事業支援業務　446 万円

東京オリンピック合宿を機につながったイタリアへの町長訪問で、スポーツ以外にも経済・観光などでの結びつきが模索されました。

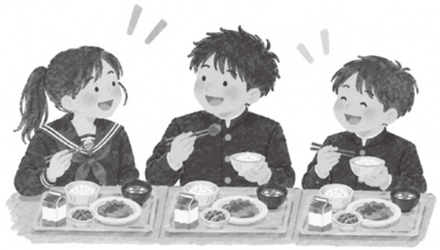
標準準拠システム移行業務　6,729 万円

国の定める標準仕様情報システムへの移行で、行政運営の効率化や住民サービスの向上がねらい。R7年度から運用開始。



プラスチックごみ処理委託料 772 万円

容器包装プラスチックと、製品プラスチックを資源物とする一括収集が開始されました。プラスチック119tが回収され、燃やすごみ削減にも大きく寄与しました。



中学３年生給食費無償化　994 万円

小中学校他学年の給食費についても、1食あたり小学校20円、中学校1・2年33円を補助。

固定資産情報管理システム構築　803 万円

公図の電子データ化により、明瞭な公図が短時間で提供できるようになりました。

物価高騰対策としての町民・事業所支援の主な具体策



①定額減税補足給付金給付事業 5,050 万円
②長野県価格高騰特別対策
支援金給付事業 1,082 万円
③住民税非課税世帯追加支援給付金
給付事業 6,098 万円
④物価高騰対応子育て応援手当
支給事業 4,656 万円
⑤子育て世帯追加支援給付金
給付事業 334 万円
⑥長野県子育て世帯価格高騰特別対策
支援金支給事業費 176 万円
⑦臨時経済対策事業費 535 万円
⑧上下水道料金減免
（水道・下水道事業会計へ繰出）6,079 万円
など

R６年度に続く大型事業

高木橋掛け替え工事　３億 8,324 万円
総合文化センター小ホール等改修工事 7億144万円

その他の「いいね！」事業



ホイールローダー購入
583 万円



みずべ保育園照明 LED 化
1,625 万円



移住ポータルサイト
「くぐると下諏訪」コンテンツ拡充
36 万円



第７分団に
小型動力ポンプ積載車配備
2,101 万円



地域クラブ活動体制整備事業費
919 万円



トイレもきれいに改修されました

議員が注目の議案！

24議案を審議 全議案を原案通り可決

詳しくは議会HPへ

「子育て・交流テラスわっこ」の運営に関する条例を制定

新施設「子育て・交流テラスわっこ」は、これまでの「ぽけっと」の機能を引き継ぎつつ、子どもが健やかに育つことができる場、子どもから高齢者まで幅広い年代の誰もが利用し、交流することができる居場所として運営されます。施設の利用料は無料ですが、行事や講座などの場合、必要に応じて実費を徴収する場合があります。利用する際は、0歳から18歳までが事前登録、18歳以上は急な来館でもその場で登録が可能です。

職員が館内全体を見渡せる構造になっており、利用者の安全面にも配慮されています。

「わっこ」ロゴ

子どもたちの意見を聞きながら運営を

生活文教常任委員会では、「地域に密着した施設に期待するが、単に利用対象を広げるだけでなく、年齢、障がい、家庭環境に関わらず安心できる運営が重要。小中高生の利用が想定されているが、単に施設を利用する対象と捉えるのではなく、子ども達自身の声を聞きながら施設運営することを期待し賛成」との討論がありました。

子育てふれあいセンター（ぽけっと）条例を廃止

「ぽけっと」の機能を「子育て・交流テラスわっこ」へ移し、現行施設を一旦リセットするため、現行条例が廃止されます。

ぽけっと廃止後の建物活用については、「ぽけっと後利用検討会議」で検討が続けられています。

本会議では、「ぽけっと後利用の検討は今も継続中で、子育て支援の役割を残すべきとの声もある。利用の内容が決定した後の条例廃止とすべきであり反対」、「現行条例は設置と管理に関するものであり、子育てふれあいセンターが閉鎖されれば存在意義を失い、条例は当然廃止となるため賛成」との討論がありました。



子育てふれあいセンター

令和7年度 国民健康保険特別会計 2年連続の黒字決算

黒字は年度途中での高所得者の国保加入や、加入者の所得が増加し税収が増えたことが要因です。余剰金を国保財政調整基金へ2000万円積み立てることができ、現在の基金残高は約3003万円になっています。

令和7年度 特別養護老人ホームは収益確保で大きな努力

特別養護老人ホーム（ハイム天白）決算は、ロングは、R7年度から2床増の58床で運営。入院による空床は引き続き多く、空床率は10・9%ですが、職員の満床運営の努力により前年度より改善しています。収支不足を補うための一般会計からの繰入金は、約5567万円となっています。

ハイム天白は自治体が運営する県内唯一の特養で、利用者やご家族にとってかけがえのない施設です。国が定める介護報酬が少ない中、施設の運営に職員の皆さんには大変努力いただいています。

令和8年度 一般会計補正予算

地域活動支援センターの火災受信機の老朽化による修繕費用約27万円。

矢木町にある民間保育所たんぽぽ保育園のICT化に対する補助金約13万円。生ごみ処理機器の購入に対する補助金の申請が増えたため45万円増額、水道基本料金1期分の減免約1871万円などが主な内容です。

下諏訪駅舎および駅周辺の改良工事に係る設計委託料を可決

下諏訪駅を起点とする町内の回遊性向上を目的とした駅舎改良工事の実施設計を行うもので、委託料は495万円。

本計画はR5年9月から下諏訪駅周辺の賑わいの創出や地域の活性化を図るため下諏訪町駅周辺活性化検討会で検討が進められてきました。この検討会は少子化や高齢化が進み空き家や空き店舗が増加する中、当時はコロナ禍なども重なり地域経済を活性化することを目的として開催されてきました。

R6年度に駅舎改修に関する一定の方向性が示されましたが、駅舎だけでなくその周辺を含めた検討や、並行して進められているグランドデザイン策定事業との整合を図っています。駅前の広場、特に送迎スペースは朝夕の通勤通学の時間帯は混雑が激しく危険な状況も懸念されることから駅舎改修にあわせて駅前の交通安全対策も警察等との協議が行われています。関係者との協議を行うとともに去年6月には下諏訪駅周辺活性化検討会からの提案を受け、改めて基本構想が整いました。

R10年度の御柱祭、山出し、里曳き、小宮祭や、信州やまなみ国民スポーツ大会など大型イベント開催で、今後駅利用者が増加することが想定されます。そこで、R10年4月の御柱祭までに工事を完了したいというスケジュールが考えられています。

旧矢﨑商店耐震改修工事請負契約締結を可決

契約の相手方は㈱サマデイ（下諏訪町）、契約金額は5188万円（税込み）。

旧矢﨑商店改修工事について、今年5月15日実施の入札結果が不調となりました。そこで、空き家の活用事業として内示を受けている国庫補助金を有効活用しつつ、「耐震化部分」と「活用に係る部分」の工事を分割することで、耐震化工事に対しては大変有利な起債となる緊急防災減災事業債を活用することとしました。

実施設計を担っていただいた長野県建築士会へリテージマネージャー協議会に分割発注とする設計見直しをお願いし、9月9日に行われた事後審査型一般競争入札において入札参加者4社による入札の結果、耐震改修工事に係る落札候補者を決定し9月15日に仮契約を締結しました。「耐震化部分」の工期は議決の日から工事完了をR9年1月15日までを予定しています。

切り分けをした「活用に係る部分」について12月定例議会に増額となる工事の補正予算を上程し、その後R9年3月定例議会で請負業者の契約案件を上程、議決後に工事着手という計画です。



旧矢﨑商店中庭よりの風景

令和7年度下水道決算 賛否割れる

下水道事業会計の決算では、「官民連携による維持管理・更新手法＝ウォーターPPP導入検討に、2245万円が支出された。R9年度以降の下水道工事への国支援に『ウォーターPPP導入の決定』を条件にし、導入検討費用に対し全額補助を行う国の誘導策には疑問。極めて公共性の高い下水道事業への、ウォーターPPP導入には慎重を期すべき」との反対討論。

「ストックマネジメント事業における下水管詳細カメラ調査や、マンホール地震対策工など適正な事業が行われたと判断する。ウォーターPPP導入についての可能性調査により、年間約200万円の経費削減につながるとの事。将来にわたり下水道事業を維持管理していくためには、その導入も必要と考える」との賛成討論がありました。

採決の結果、挙手多数により、決算は認定されました。

陳情・意見書案の審査結果

陳情ってなに？

国や地方公共団体などの公共機関に対して、その実情を訴え、一定の措置を行うよう、または行わないよう要望する行為のことです。



意見書ってなに？

議会がその意思を意見としてまとめ、国会や関係機関に提出するものです。

請願や陳情の願意に沿ったものや、議員発案で提案されるものがあります。

〈長期休暇中の子どもの貧困対策および緊急セーフティーネットの強化を求める意見書〉

全会一致で可決

長引く物価高騰の影響等により、低所得の子育て世帯やひとり親世帯の生活苦が深刻化しています。特に長期休暇中の子どもの健康リスクや家庭の孤立化は深刻な課題です。

この課題解消のため、冷暖房を含め快適に過ごせる居場所・食の確保、必要な家庭への支援や情報提供などの「長期休暇こども緊急セーフティネット」の早期構築を、国・県に求める内容です。

総務経済常任委員会から提案されました。

〈義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情、意見書〉

全会一致で採択、可決

長野県教職員組合諏訪支部から、毎年提出される陳情です。今年「義務標準法」が改正され、小学校に続き中学校の学級編制基準が 2028 年度までに 35 人に引き下げられます。また、長野県では今年度から独自に小学校 1 年生の「25 人規模学級編制」が導入されました。しかし、教職員の採用・配置に係る財政措置が伴わず、公教育に地域間格差が生じかねません。

全国どこでも同じ水準の教育が受けられるようにするための義務教育費国庫負担制度の維持と、2006 年に1/3に引き下げられた国庫負担率をそれ以前の1/2に戻すことを国に求める内容です。

陳情採択を受けた意見書案が、生活文教常任委員会から提案されました。

〈さらなる少人数学級の推進と教職員定数改善のための教育予算確保を求める陳情、意見書〉

全会一致で採択、可決

こちらも、毎年長野県教職員組合諏訪支部から提出される陳情です。多様なニーズをもつ子ども一人ひとりに寄り添った指導・支援を行うには、国の責任によりさらなる少人数学級の推進が求められます。また、多忙を極める教員の働き方改革を推進するためにも、教員の配置基準の見直しや財政措置が不可欠です。

そこで、さらなる少人数学級の推進、複式学級の編制基準の引き下げ、教員基礎定数算出に用いる係数の改善、少数職種の配置増とともに必要な予算確保を求める内容です。

陳情採択を受けた意見書案が、生活文教常任委員会から提案されました。

9月定例会 議案等賛否一覧

※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ表示しています。

議案名等 ＼ 議員名（議席順）	議決等結果	中山 透	林 吉広	野沢弘子	竹元完奈	髙橋幸二	林 元夫	樽川信仁	大橋和子	花岡 進	金井敬子	青木利子	豐島健之	松井節夫
子育てふれあいセンター条例の廃止	可　決	／	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×
令和７年度　下水道事業会計決算	認　定	／	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×

賛成者は「○」、反対者は「×」とします。議長は採決に加わらないため、「斜線」としています。
なお、下諏訪町議会は会派制をとっていないため、氏名は議席順に掲載しています。

一般質問12の視点

「歩いて・見て・聴いた」こと「議員自身の提言」も交えて、町に考えを質す！
９月定例会でも、あらゆる町の課題に、議員一人一人の目線で、執行部と真剣な議論を展開。今後の町の動向にも注目！

P8 水道事業
P8 水月観桜会
P9 渋滞の緩和
P9 緊急避妊薬
P10 国保の改善
P10 精密の町
P11 防災対策
P11 安心の家
P12 財源の確保
P12 健康増進
P13 産後ケア
P13 多文化共生

皆さんはどのテーマに関心がありますか？



各議員のQRコードから一般質問の録画映像を見ることができます。
スマートフォン等からアクセスして、ぜひご覧ください。
全質問項目は、下諏訪町ホームページから見ることができます。

下諏訪町議会 議会中継 チャンネル

質問順

1. **林　元夫**　水道事業の広域化を
2. **大橋 和子**　桜を見ながら交流会を
3. **野沢 弘子**　県道185号線の渋滞対策
4. **竹元 完奈**　緊急避妊薬の周知を
5. **花岡　進**　町独自の保険税軽減策は
6. **髙橋 幸二**　支援センター機能強化は
7. **松井 節夫**　ハザードマップの活用法は
8. **林　吉広**　登下校中の発災時の対応は
9. **豐島 健之**　多様化する財源への対応は
10. **青木 利子**　健康ステーション利用者は
11. **樽川 信仁**　利用状況の分析は
12. **金井 敬子**　外国籍住民の困りごと把握

水道事業



林 元夫（はやし もとお）

水道事業の広域化を

答弁 非常時の相互融通など広域連携に

問 水道事業の課題は①料金回収率は、赤字状況が拡大②施設利用率は、施設の配水能力よりも水需要が少ないため他所と比べても低い③管路の老朽化などにより、有収率が低い④施設の老朽化が進んでいる。どのように取組むか。

建設水道課長 施設の更新は40年で180億円かかる。事業の平準化で年間2億円程度で進める。鋳鉄管敷設替えなど耐震化も図る。3年ごとに15％から20％の料金改定をしていく。

問 町の余っている水を広域化により使ってもらえないか。

町長 岡谷市ではすでに投資されており配水は難しい。非常時の相互融通体制など広域連携を進めていく。

歳入増の積極的取組み

問 新規財源の新たな施策は。

総合政策課長 ①企業版ふるさと納税の推進②公共施設の命名権を企業に与える「ネーミングライツ制度」など新たな広告収入の確保③森林資源活用のカーボンクレジットなど、地域企業と連携した新たな歳入確保④個人版ふるさと納税の推進も図っていく。

問 ニデック社宅跡地の北側の購入と利用計画は。

町長 グランドデザイン具現化による活用方法が確定した時、購入。



企業版ふるさと納税推進パンフレット

水月観桜会



大橋 和子（おおはし かずこ）

桜を見ながら交流会を

答弁 会場準備、天候を考慮し食祭館で

問 水月会は明治35年水月園に桜や楓200本を植樹し、同年11月9日水月園を開園。現在560本位に増加。R9年は水月会発足125周年。これからの観桜会をどの様に考えるか。

産業振興課長 公園を専有して開催することは、条件が整い実現できる可能性があれば研究していきたい。

諏訪湖環境整備の課題

問 浚渫やヒシ対策等の問題点は。

建設水道課長 R10年諏訪湖が国民スポーツ大会の会場となる。防災上の懸念や観光・利活用に与える影響を踏まえ、浚渫、水草の刈り取り等の整備が必要な為、県知事に要望した。過去3年間で10億7千万円かけて4万4400㎥の土砂を除去し、2億9千万円で2200tの水草除去を県が実施。しかし対策が追い付いていないのが現状。

みずべ公園富士見百景

問 関東の富士見百選に選定されたみずべ公園案内写真と銘板をわかりやすい場所に移動・新設できないか。

建設水道課長 貴重な観光資源だが、観光写真と銘板の乱立にならないよう検討が必要。町のHPなどに情報を発信したい。



諏訪湖の日記念イベント

渋滞の緩和



野沢 弘子（のざわ ひろこ）

県道185号線の渋滞対策

答弁 道路管理者は諏訪建設事務所

問 旧ジャスコ通りの通勤渋滞は、長年地域住民を悩ませ、対策の要望も多い。高浜交差点の車線分離の改善など、渋滞緩和の対策を。

建設水道課長 より円滑で利用しやすい道路環境となるよう県と緊密に連携し渋滞対策に努める。

「ラーケーション」

問 ラーケーションとは、休日も出勤の保護者と子どもが、平日に体験や探究を行うもの。諏訪市では、年3日まで学校を休んでも欠席扱いとしない制度を実施。休日を子どもと過ごせなかった保護者が、平日に一緒の時間を持つことは、これ以上ない喜びとなる。ぜひ導入を。

町長 「ラーケーション」は意義深い取り組み。当町でも土日祝日に従事される保護者の皆様や、子どもたちにとって、得難い豊かな経験となる。研究検討してまいりたい。



朝の通勤渋滞（高浜交差点付近）

教育長 諏訪市をはじめ先行事例における積極的な活用状況から、働き方に寄り添った支援策と受け止めている。今後、保護者の皆様や学校現場の意見を聞きながら研究する。

大災害時の受援計画は

問 災害時の応援職員受入体制は。

総務課長 「受援計画」はR2年に策定。本年の総合防災訓練で初動対応やイメージアップ訓練を実施。訓練結果等から継続的に更新する。

緊急避妊薬



竹元 完奈（たけもと かんな）

緊急避妊薬の周知を

答弁 町HPにリンク掲載検討

問 県内で高校生の死産事案が相次ぐ中、若者が性や妊娠を一人で抱え込まない環境づくりが急務と考える。今年2月から緊急避妊薬が処方箋なしで薬局購入可能になった。町ホームページでの周知は。

保健福祉課長 厚生労働省ホームページへのリンク掲載を検討する。

問 困っている若者に情報を届け、相談につなげる取組みは。

保健福祉課長 中学1年生対象にSOSの出し方教育を継続実施している。

情報を届け繋ぐ工夫

問 電話が苦手な若者も使えるSNS相談の導入検討は。

町長 メリットは大きいが対面連携も必要。慎重に検討していく。

問 身近な場所で専門職に相談できるユースクリニック等の検討は。

教育こども課長 身近な大人から相談窓口へつなぐ体制整備を進めていく。

地域で支える体制

問 諏訪圏域の他市町村と連携したモデル事業の実施は。

教育こども課長 有意義な提案だが課題も多く、今後の研究課題。

問 若者が性や妊娠を一人で抱え込まない地域づくりへの取組みは。

町長 地域全体で若者を支える仕組みを構築し取り組んでいく。



緊急避妊薬 販売薬局一覧 HP

国保の改善



はなおか　すすむ
花岡　進

問　国保は皆保険制度を支える基盤。公共性をどのように考えるか。

町長　セーフティーネットであることは認識しているが、受益と負担の観点は必要。法律の枠内での運営に努める。

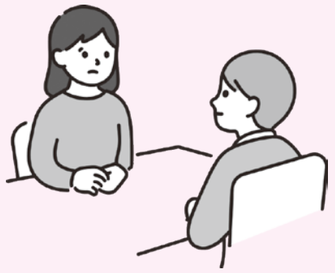
問　困りごとや生活を丸ごと支えるような体制づくりを検討できないか。

町長　なんでも相談室、子ども家庭センター、各課や専門機関との連携・情報共有による伴走型支援に今後も努めていく。

スポーツ振興のために

問　スポーツイベントで町の費用負担は。大会継続のため参加料に上乗せし町の収入にできないか。

教育こども課長　公衆トイレの管理、安全管理、水道光熱費など町の負担が生じている。上乗せについては関係団体と協議していく。



困りごとや生活を丸ごと支援

町独自の保険税軽減策は

答弁　税金の公平性の観点からできない

平和教育のあり方は

問　沖縄県辺野古沖の死亡事故を機に、文部科学省が校外活動・修学旅行での平和教育に関する調査を行ったが平和教育に変更はあるか。

教育長　安全管理と政治的中立は必要。平和教育に変更はない。

問　中学生広島平和教育体験研修など平和教育をどう考えるか。

教育長　生徒の真摯な姿は尊い。平和教育を一層発展させていきたい。

精密の町



たかはし　こうじ
髙橋　幸二

問　精密・ものづくりが観光施策や地域ブランドづくりの今後の可能性をどのように認識しているか。

町長　下諏訪は精密工業の集積地。産業観光の推進は、子どもたちのキャリア教育、人材確保につながる。地域ブランドになる産業を観光資源として、広めて強化していく。

問　行政、商工会議所、ものづくり支援センター及び町内企業が連携したオープンファクトリー等による産業観光の推進は。

町長　企業の協力、基盤の整理が必要。関係団体と効果的に推進できるよう、検討していく。

問　産業観光を活用した人材育成、企業支援、移住定住及び「下諏訪ブランド」づくりの推進は。

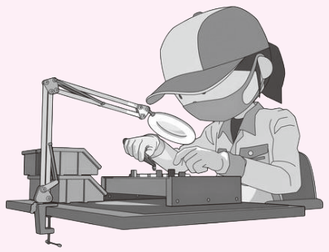
町長　産業観光は、技術・職人の誇り、感動してもらうことが大切。複合的に下諏訪ブランドを構築していく。

支援センター機能強化は

答弁　整理しながら研究していく

問　世界を支える精密・ものづくりの町として町長の将来ビジョンは。

町長　ものづくりの町として全国に認知されることは、私が描く将来像と一致。議員の指摘も踏まえ、商工会議所等の関係機関と連携し歴史に根差したブランディングに繋げていく。縄文時代の黒曜石の石器作りからDNAがあるような気もする。歴史的な流れの中でものづくりが位置づけられるので、観光と繋げる事はいい視点である。



精密・ものづくりの町、下諏訪へ

防災対策



まつい　せつお
松井　節夫

問　危険個所として指摘された場所をどう安全にするか。

総務課長　危険個所は多い。県がハード面を優先順に、町は訓練・避難場所などソフト面を充実する。

問　発災後48時間以内トイレ・食事・ベッドの提供（ＴＫＢ48）が望ましいが、装備の備蓄は。

総務課長　簡易ベッド111台、毛布1399枚、床マット3410枚、テント型間仕切り108個、ブルーシート285枚、カセットコンロ27台、災害用移動炊飯器11基など。

問　避難所となる体育館のエアコン装備は。

教育こども課長　学校体育館への設置率は、全国31.7％、県5.1％。町はエアコン設備はないが移動式スポットクーラーが8台ある。下諏訪体育館にも2台あり、効率的に活用する。

問　避難所用簡易トイレの常備は。

ハザードマップの活用法は

答弁　活用しやすいようにＲ8年度更新

総務課長　各避難所に5個ずつ、町を含めて110個備蓄。臭いを封じ込めるトイレ「ラップポン」を4台購入。住民各自で備えるよう広報誌やＨＰで周知する。

問　大量降雨で、諏訪湖があふれることを防ぐため、事前に水位を下げることはできないか。

建設水道課長　放水は県が操作規則に基づいて行う。農業の利用もあり、規定水位以下にはできない。規則の見直しを県に求めていく。



急傾斜地

安心の家



はやし　よしひろ
林　吉広

問　児童生徒が登下校中に大規模災害に遭遇した場合、どのような対応をすることになっているか。

教育長　児童生徒が自らの判断で安全を確保しなければならない状況が想定される。緊急時の判断や対応の仕方について、教員と共に訓練を通じて確認をしている。

問　緊急時に駆け込める場所「こどもを守る安心の家」をどのように把握しているか。

教育こども課長　「安心の家」については諏訪警察署に事務局がある諏訪防犯協会連合会においてとりまとめを行っている。新規の委嘱や看板の交付は各小学校を通じて行っている。

問　いつでも安心して駆け込める場所を増やしていく取り組みを更に充実させてほしい。

町長　児童生徒の安全・安心を確保する意味で大変重要だと認識している。今後も警察と緊密な連携のもとで幅広く見守りの協力を呼び掛けながら進めていきたい。

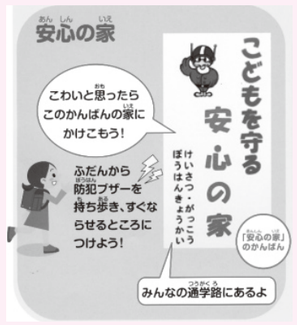
ゾーン30プラス導入

問　ゾーン30プラスのモデル地区導入をお願いしたい。

建設水道課長　今後、候補となる地域について警察や関係機関と情報共有を図りながら導入の可能性を研究していきたい。

登下校中の発災時の対応は

答弁　児童生徒が自ら判断できる指導を



長野県警察本部ホームページより

一般質問

財源の確保



とよしま たけゆき
豊島 健之

多様化する財源への対応は

答弁 補助金情報は庁内で横断的に共有

問 複雑・多様化し、煩雑な作業を強いられる交付税・補助金の申請を、一括して管轄する部署・係の創設は。

町長 財源調達は、町全体として戦略的に取り組むべきと考える。①地方交付税については継続的な習熟が不可欠なため、引き続き総務課財政係が一元的に対応する。②補助金については、近年分野を跨ぐものが大変増えており、一つの課の視点だけでは活用の可能性を見落としてしまうおそれもある。そこで今年度新設した総合政策課を中心に財政部局と連携の上、庁内で横断的に補助金情報を共有する仕組みを整えている所である。今後も財源確保に向けて漏れの無い体制を構築し、各事業と財政運営を切り離さずに進めて行く。

危険区域への対策

問 地滑り崩壊を予測する解析システムの研究を公立諏訪東京理科大で行っているが、導入の可能性は。

町長 理科大が取り組んでいる研究は、現時点では実証実験に先立つデータ収集の段階と認識している。本研究が実証段階に至れば、急傾斜地の危険性を科学的に把握する手段として大変有意義であると考える。先ずは先行する近隣市町村と理科大との状況をリサーチし、その上で理科大との協力関係の構築・共同での推進の可能性を確認する。



町内各所に散在する災害危険区域

健康増進



あおき としこ
青木 利子

健康ステーション利用者は

答弁 年々増加、一日百人超える日も

問 利用者、登録者数は。

教育こども課長 R3年度は4256人、R4年度6674人、R5年度1万3447人、R6年度1万8017人、R7年度2万314人。登録者は8月末で町内2000人超え、町外600人弱。

問 施設内設置の体組成測定の成果は。

教育こども課長 身体状況を数値で客観的に把握でき、健康への意識向上が、健康行動に繋がっている。利用者からは好評の声が多数。

問 無料マシン体験講座の成果は。

教育こども課長 R7年度は計37回の開催で96人参加。体験終了後、継続的な利用に繋がるケースも。

錬成の家の今後

問 錬成の家の現状と今後は。

教育こども課長 耐震基準を満たしておらず、各所で雨漏りが発生。

町長 R4~6年度に検討された湖畔地区グランドデザインでは、今後解体し周辺一帯を広場として活用することが考えられている。

女性活躍の社会推進を

問 女性の就労や活躍への支援や、相談窓口は。

産業振興課長 「ぽけっと」にて、県地域就労支援センターによる就労相談が月1回実施されている。今後も継続できるよう、調整中。



健康ステーション

一般質問

産後ケア



たるかわ のぶひと
樽川 信仁

利用状況の分析は

答弁 助産院開業。利用しやすくなった

問 2日間の人出は。

産業振興課長 天候に恵まれ、初日は3万3千人。2日目は1万4千人が来場。姉妹都市の南知多町の山車の参加もあり、人出が多かった。一方で、ごみは少なかった。

議員のなり手不足

問 町議選での公費負担の内容は。

総務課長 R5年の町議会議員選挙から、自動車の使用、ビラ、ポスターの作成が公費負担になった。

お舟祭りを振り返って

問 町と事業者のアンケートに見るニーズと自己負担額の受止めは。

保健福祉課長 R7年度、79名の方にアンケートを実施。利用後の満足度が高かった。相談型で使用可能な助成券を使う方が多い。

問 需要の高まりと施設ごとの自己負担額の格差、今後の補助基準の考え方は。

保健福祉課長 利用割合は相談型が多い。助成券を通所型等でも使えるように検討していく。

問 官民一体での産後ケア拡充と補助額引き上げ（12000円程度へ）を提言するがどうか。

町長 昨年度から拡充し、利便性も高めてきている。補助額の引き上げは、施設の料金設定、近隣自治体の状況を見ながら、相談型利用券の柔軟な取り扱いをしていく。



産後ケア事業の補助拡大を願う

多文化共生



かない けいこ
金井 敬子

外国籍住民の困りごと把握

答弁 役場で全てを把握することは困難

問 町内居住の外国籍の方は、単なる労働力や「支援される人」ではない。地域社会の一員としてともに暮らせる多文化共生のまちづくりが必要。外国籍の方の困り事が相談できる窓口対応を求めるが。

総合政策課長 今年8月現在、外国籍住民は400人。窓口への外国語対応の職員配置はないが、町ホームページは12言語に対応。今年度から20言語対応の遠隔通訳サービスに登録。一方、制度などの複雑な説明や相談については、十分な対応が難しい場合もある。分かりやすい情報提供に努める。

問 現在町内にはない「日本語教室」や外国籍住民が集う交流の場の設置、他自治体の既存教室への支援・通級への支援の検討を。

町長 日本語教室は多文化共生の重要な拠点になり得る。国・県の支援制度の情報収集、外国籍住民の実態把握、関係機関との連携で、支援体制の構築に向けて取り組む。

生理用品配備拡充を

問 今年度から庁舎トイレに配備開始された生理用品。5~7月102枚が使用された。他の公共施設へも配備を。

町長 現段階ではデータが少なく、様々な判断をするにはもう少し様子を見る必要がある。



庁舎女子トイレに配備された生理用品



下諏訪町議会懇談会



私たち議員は町民のみなさんの声をお聞きするため、毎年議会懇談会を開催しています。今年度は7月3日に開催しました。話しやすい雰囲気で日頃感じていることをお聞かせいただこうと、議員一人ひとりのブースを設け、たくさんのご意見・ご要望をお聞きしました。

暮らしと安全・防災

町民からは、交通・防犯・環境・災害対策など生活に直結する課題が多数挙がりました。

- あざみ号の増便
- やしマルシェ再開時期
- 外国人も安心して暮らせる環境づくり
- 子どもの見守り体制強化(見守り協議会設立案)
- 移住者の生活支援（家賃補助など）
- 防犯カメラ・街路灯の増設
- 諏訪湖へのプラごみ流入防止、中高生の環境アイデア募集
- 災害ボランティア増員、防災対策の地域適合
- 浸水 5m を想定での避難場所の確保
- 防災無線の聞き取りづらさ→防災ラジオ普及

子育てと教育

子育て環境の改善、学校支援、地域活動の負担など幅広い意見が寄せられました。

- 子育て支援だけでは不十分、育てやすい町づくりの議論
- 心の教室支援員の待遇改善・専任化
- 包括的性教育の推進
- 子どもの居場所づくりの強化
- 学校のあり方の今後の議論
- 給食費の小学校･中1･中2の無償化(弁当持参や不登校児への無償化相当分支援含む)
- 共働き増加による地域活動の担い手不足
- 小中学校トイレへの生理用品配備

観光と産業、移住・定住

観光と移住促進を結びつけた提案が多く出ました。

- 滞在時間を増やす観光の推進
- ホシスメバを活かした多拠点居住の誘致
- 空き家を使った移住体験・農業体験
- 町外へ出た若者が戻れる就労・起業・結婚支援
- 体験を通じたファンづくりと魅力発信

議員と選挙

議会のあり方や選挙の状況についての意見が多く出ました。

- 立候補者を増やしたい
- 議員の活動の見える化
- 議員報酬の増額
- 若者・女性が立候補しやすい環境づくり
- 幅広い年代の議員が必要
- 議員の取り組み・町の課題・将来像への問いかけ

参加者アンケートでは、「居場所づくり・教育など、議員が大切にして活動している。実現のために自分も何かしたい」「じっくり話ができ、議員の人柄や思いに触れられた」「素敵な機会。下諏訪がもっと好きになった。今日聞いた課題を自分事として考えたい」「少し踏み込んで質問ができて良かった」「議員それぞれの専門分野、多様性が町の強み」「参加者の提案をまとめて HP･議会だよりで発表を」など、貴重なご意見をお寄せいただきました。今後の議会活動に生かしていきたいと思います。

生活文教常任委員会-視察

生活文教常任委員会では、7 月 15 日から 17 日まで、奈良県天理市、京都府亀岡市、滋賀県野洲市を訪問し、子ども・若者支援、環境施策、生活困窮者支援・重層的支援体制について行政視察を実施しました。

今回視察した 3 市では、それぞれ異なる行政課題を扱いながらも、個別の制度や行政組織だけで課題を解決するのではなく、庁内の分野横断的な連携や、市民、地域団体、事業者等との協働により、既存の施設や地域資源、人材を活かしながら、新たなつながりや仕組みを生み出して施策を構築している点が共通していました。今回確認した各自治体の取り組みは、当町における学校施設のあり方、子ども・若者支援、環境施策、包括的な相談支援体制を検討する上で、今後の施策検討に資する取り組みでした。



奈良県天理市

学校施設の複合化と子ども・若者支援について

天理市では、人口減少や学校施設の老朽化が進む中、小規模校を安易に統廃合するのではなく、学校を地域の支え合いの拠点として活用する「みんなの学校プロジェクト」を進めています。学校教育を「第一部」、学童保育や放課後活動などを「第二部」、生涯学習や社会教育など地域住民の活動を「第三部」とする「学校三部制」の考え方を取り入れ、学校施設を地域全体で活用しています。

R6 年 4 月には教育総合センター内に「子育て応援・相談センター～ほっとステーション～」を開設しています。学校・園・所だけで複雑化する課題や保護者対応を抱え込むのではなく、専門的な相談窓口が課題を整理し、子どもを中心に学校・家庭・関係機関が連携して解決を図る体制を構築しています。



京都府亀岡市

プラスチックごみゼロ環境施策について

亀岡市では、保津川の漂着ごみ問題を契機として「2030 年までに使い捨てプラスチックごみゼロを目指す」取り組みを進めています。レジ袋提供禁止条例の制定に加え、給水スポットを市内 130 か所以上に拡大し、リユース食器の利用補助、企業との環境協定、ごみ拾いしながら街をウォーキングするエコウォーカーなど、市民が日常生活の中で参加できる仕組みを展開しています。

「燃やすごみ」を「燃やすしかないごみ」と表現するなど、分別行動を促す情報発信の工夫や、「こども海ごみ探偵団」や企業と連携した環境教育、サーキュラー亀岡ラボでのリユース・リペア活動など、規制だけでなく教育、地域経済、市民参加を組み合わせて環境施策をまちのブランド形成につなげている点が特徴です。



滋賀県野洲市

生活困窮者支援 重層的支援体制について

野洲市では、「制度を見るのではなく人を見る」「課題を見るのではなく暮らしを見る」との考え方のもと、市民生活相談課を中心とした「断らない相談体制」を構築しています。H28 年制定の「野洲市くらし支えあい条例」では、行政組織全体で生活困窮者等の発見と支援に取り組むことを位置付けています。特徴的なのは、税や保険料等の滞納を単なる徴収の対象ではなく、生活上の困難を示す SOS として捉え、家計改善、就労、福祉、法律相談等につなげて生活再建を支援する点です。

市役所内に設置された「やすワーク（ハローワーク）」により生活相談と就労支援を一体化し、不登校生徒についても卒業後に支援が途切れないよう福祉・教育・就労機関が連携する移行支援を実施しています。

～水上に輝く笑顔とチームワーク～

ローイングチーム「諏訪娘（すわこ）マミーズ」結成20周年インタビュー

子どもの部活動をきっかけに結成し、今年で20周年を迎えました。メンバーが入れ替わりながらも、みんなで助け合いながら練習を大切に続けてきました。全国大会や下諏訪レガッタで優勝することもでき、この20年でかけがえのないたくさんの思い出と強い絆を育んできました。

ローイングの魅力は、５人で一つの艇に乗り、全員で同じ目標に向かって漕ぎ進む一体感にあります。早朝の水上に輝く美しい朝日や富士山を眺めながら練習に励む時間は格別で、勝ったときの飛び上がるような喜びも、負けたときの悔しさもみんなで分かち合ってきました。体力面でも互いにカバーし合い、どんなときも笑顔で楽しむことが私たちのパワーの源です。

ローイングで人と人とが温かくつながるように、町議会も私たち町民にとってより身近で、お互いに触れ合える「交流のきっかけ」がさらに広がっていくことを心から期待しています。　【インタビュアー金井・高橋】



「諏訪娘（すわこ）マミーズ」の皆さん（赤ポロシャツ）
みなさん明るく、笑顔で、全国大会に行っても沢山の仲間がいらっしゃいます。

議長のつぶやき

議会任期も残り約半年となりました。下諏訪町では、町議会議員選挙の無投票が２回続いており、議員のなり手不足が深刻化しています。

議員のなり手不足は、様々な要因が絡み合っていますが、議会の役割、議員の仕事が皆様に十分伝わっていないことなどがあげられます。

そこで、12月議会終了後から、事前予約していただければ、私が議会活動や立候補に対する相談をお受けします。

関心のある町民の皆様、ぜひご連絡をお待ちしています。

議長　中山　透

問い合わせ先
二次元コードまたは議会事務局まで
電話でお問い合わせください
TEL 0266-27-1111

12月定例会日程（予定）

開会	11月	30日（月）
議案質疑	12月	7日（月）
一般質問		8日（火）
		9日（水）
閉会		16日（水）

ぜひ傍聴にお越しください。
日程は変更になる場合があります。
詳細は議会HPをチェック！

SNSはこちらからご覧ください

Instagram　Facebook

下諏訪ぎかい Vol.53 2026.10.23 発行
発行・編集　下諏訪町議会
下諏訪町　議会だより　で検索
TEL 0266-27-1111　FAX 0266-27-1237
Email gikai@town.shimosuwa.lg.jp